

川崎市市制100周年記念事業実施計画 「Colors, Future! Actions プラン」 改定版

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

目次

- 1 計画の概要
- 2 事業推進計画
- 3 広報計画
- 4 資金計画
- 5 実施体制等

【別紙】事業一覧

1 計画の概要

- 1-1 計画の目的と位置づけ
- 1-2 計画の体系
- 1-3 基本理念
- 1-4 基本方針
- 1-5 実行委員会の設立
- 1-6 コンセプト
- 1-7 プラットフォーム:「Colors, Future! Actions」
- 1-8 プラットフォーム・ステートメント
- 1-9 15のActionテーマ
- 1-10 Actionテーマ使用イメージ
- 1-11 記念事業ロゴマーク
- 1-12 記念事業期間
- 1-13 時期ごとの目的・事業

1-1 計画の目的と位置づけ

川崎市は、大正13（1924）年に川崎町と大師町、御幸村の2町1村の合併により市制が施行して以来、令和6（2024）年7月1日に市制100周年を迎えます。

人口約5万人から始まった川崎市は、政令指定都市として6番目の人口を擁する大都市へと成長しました。京浜臨海部の一翼を担う工業都市としての発展を経て、現在では、多くの先端産業が集積するとともに、音楽・スポーツ・文化など多彩な魅力を有する活力ある都市として、今なお成長を続けています。

市制100周年という歴史的な節目に向けて、川崎市全体を盛り上げ、市制100周年記念事業を一過性のイベントとせず、「あたらしい川崎」を生み出していくため、さまざまな企業、団体、市等のオール川崎市で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を令和4（2022）年9月に設立し、令和6（2024）年1月現在、370を超える企業・団体が参画して記念事業期間を迎えようとしています。

この川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors, Future! Actions プラン」は、記念事業を進めるにあたっての各種計画や実施される事業などをまとめたものとして、令和5（2023）年3月に策定し、準備期間の取組を推進してきました。

令和6（2024）年3月には、準備期間の取組状況等を踏まえて、記念事業の全体像や記念事業期間に実施する事業の具体的内容等を示し、多様な主体による事業の一体的・計画的な推進を図るために実施計画を改定しました。

今後は、実施計画改定版に基づき、さまざまな主体が垣根を越えて力を掛け合わせ、多様で多彩な記念事業を展開していきます。

1-2 計画の体系

川崎市策定

令和4(2022)年3月

基本的な考え方

○基本理念及び基本方針の策定

○実施期間の設定及び実施体制の構築

令和4(2022)年9月

基本計画

(Colors, Future! Actions ガイド)

- コンセプト及びプラットフォームの策定
- ロゴマークの策定
- 事業展開（15のActionテーマ）の設定

令和5(2023)年3月

実施計画

(Colors, Future! Actions プラン)

- 事業推進計画
- 広報計画
- 資金計画
- 実施体制等
- 事業一覧

令和6(2024)年3月

実施計画

(Colors, Future! Actions プラン)
改定版

- 事業推進計画
- 広報計画
- 資金計画
- 実施体制等
- 事業一覧

※準備期間の取組状況を踏まえて、記念事業の全体像とレガシーのイメージ、及び記念事業期間に実施する事業の具体的内容等を示す

川崎市市制100周年記念事業・全国緑化かわさきフェア実行委員会策定

1-3 基本理念（「基本的な考え方」より）

川崎市は、多様なバックグラウンドや価値観、能力を持つ人たちが、共に暮らし、働き、そして互いに認め合い、支え合い、高め合うことで発展してきました。

市制100周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とします。

さらに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとします。

1-4 基本方針（「基本的な考え方」より）

1. 川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。

川崎市ブランドメッセージは、川崎市の多彩な魅力を一言で表現し、都市の将来像を示すものとして、平成28（2016）年に策定し、市制100周年を見据えて活用してきました。

市制100周年を「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするために、ブランドメッセージに込められた「多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」という意味を、「多様性」を可能性にして発展してきた川崎市の歴史を振り返りながら、市民の共感を喚起し、改めて共有します。

2. 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。

川崎市が誇る魅力や価値などを、市制 100 周年を契機にさらに発展させるため、さまざまな分野において、市民、企業、団体等と協働・共創して多様なアクションを進めて全市的なムーブメント(行動)を起こし、将来のよりよい文化にしていきます。

特に「みどり」分野については、これまでの歴史や強み等を振り返りながら市民の皆さんと一緒に考えて行動し、新たな文化を醸成するきっかけとして、令和6(2024)年度に「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、"川崎らしいみどり"を発信します。

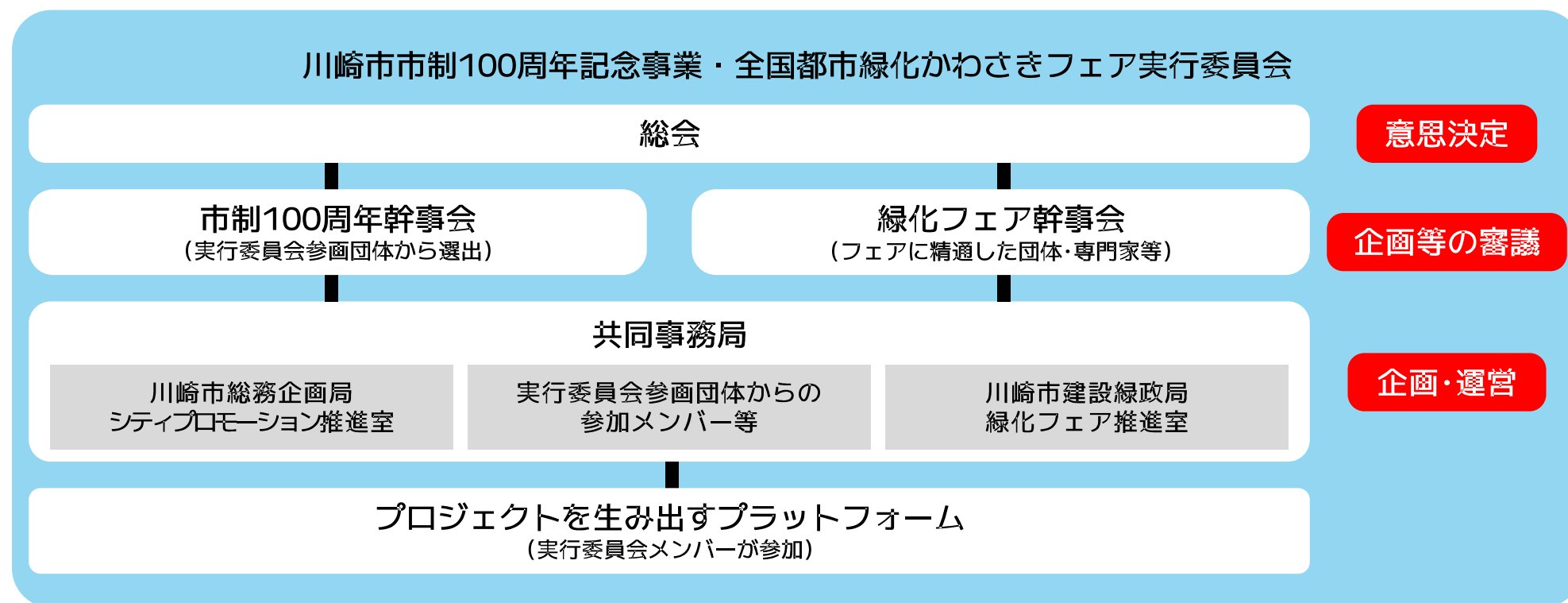
3. 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

川崎市が市民にとって安心で居心地のよい場所となるよう、記念事業を川崎市が誇る魅力や価値などに触れて再認識する機会とし、市民に参加や関わりを促すことで、シビックプライド(川崎への愛着と誇り)の醸成を図ります。

1-5 実行委員会の設立

市制100周年という歴史的な節目に向け、オール川崎市で取組を進めるため、さまざまな企業、団体、川崎市等で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立しました。

市制100周年の象徴的な事業として令和6(2024)年度に開催する「全国都市緑化かわさきフェア」と合同の実行委員会とし、一体的に展開していきます。



実行委員会には「幹事会」「共同事務局」を設けます。

「共同事務局」で企画し、各幹事会で審議しながら、さまざまなプロジェクトを生み出していきます。また、実行委員会参画団体が参加する「プラットフォーム」を活用して、プロジェクトの熟度を深めていきます。

1-6 コンセプト（「基本計画」より）

川崎市ブランドメッセージに込められた意味が、

「あたらしい川崎」を生み出していくという

市制 100 周年記念事業を体現することから、

記念事業のコンセプトを

「Colors, Future! いろいろって、未来。」と決めました。

コンセプトの実行による未来の可能性の場づくりを

していくことで、さまざまな活動や価値が生まれ、

この先100年に向けた川崎市の成長の機会にします。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

1-7 プラットフォーム：「Colors, Future! Actions」（「基本計画」より）

記念事業のコンセプトを
具現化する場の設定や活動を
記念事業プラットフォーム

「Colors, Future! Actions」と総称して、
市民一人ひとり・企業・団体等が
自由に参加できる活動の場を設けます。



1-8 プラットフォーム・ステートメント（「基本計画」より）

「Colors, Future! Actions」を
さまざまな主体が一体となって推進するために、
ステートメントを設定しました。
ステートメントを通じて、
一人ひとりの好きを掛け合わせることで、
多様で多彩な「Action」を記念事業で
生み出していくための想いを共有していきます。

Colors, Future! Actions

川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。
ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

1-9 15のActionテーマ（「基本計画」より）

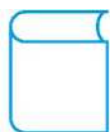
「Colors, Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。





ACTION 01
グリーン・コミュニティ

みどりを増やすのみならず、
みどりと人の多様で
新しい関係づくり。
都市環境整備の活動など。



ACTION 02
ブランディング

川崎ブランドを伝える
メディアの開発や、
新たなスーベニアの開発など。



ACTION 03
ビジネス・インキュベーション

企業支援・研究開発
(スタートアップ支援
・量子コンピューターネイティブの育成など)



ACTION 04
ネクストジェネレーション

ブレイキンやBMX、
スケートボードなど若者文化を
広める活動や、若者のアクションを
応援する活動。



ACTION 05
名物フード

ダイバーシティを体現する
ソウルフードの開発。
フードロスアクションの推進など。



ACTION 06
チアアップ

シニア・健康・子育てなどを
応援する活動。



ACTION 07
ナイトタイムエコノミー

ナイトマルシェの開催や、夜でも
安全に楽しめるパークの整備など。



ACTION 08
サステナブル

環境・臨海部に関する活動。脱炭素の
取り組みや循環型の持続可能なまちづくりに
関する取り組み。環境技術など。



ACTION 09

イベント・祭

フェスの開催や、地産地消マルシェの
推進、ハロウィンに続く
シンボルイベントの創出など。



ACTION 10

Well-being

健康福祉。
コミュニティへの参加や
憩いの場の創出など。



ACTION 11

グローバル

インバウンド向けの情報発信、
コト消費の開発、
在住外国人との交流支援など



ACTION 12

アート&ミュージック

文化・音楽に関する活動全般。
アートのDX 推進。
新たな表現スペースの創出など。



ACTION 13

スポーツ

サッカーやバスケットをはじめとする、
スポーツに関わるもの全て。



ACTION 14

学び

まちの歴史探求や工場見学といった
学び体験やコンテンツなど。



ACTION 15

安全・安心

防犯や地域の見守り、
災害への備えといった安全・安心のまち
かわさきへの取り組みなど。

1-10 Actionテーマ使用イメージ（「基本計画」より）

生み出されたさまざまな「Action」には、関連するActionテーマをラベリングし、テーマごとにまとめて、実行委員会公式WEBサイト等で分かりやすく発信します。

なお、市民等はラベルにより自分の興味がある Action を検索して、参加・体験することができます。

周知

- 記念事業プラットフォーム「Colors, Future! Actions」と併せて、HP・ポスター・メディア等の媒体を通じて使用イメージを周知し、市民総参加型で取組の方向性を共有する

事業企画

- 実行委員会・市民等が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんな Action ができそうか、Action テーマを踏まえて企画・検討
 - 生み出されたさまざまな Action について、関連する Action テーマをラベリング
- ※複数のテーマが関連する Action については、一つの Action に対して複数のテーマをラベリング



発信

- さまざまな Action の周知の際に、Action テーマのラベルを配布して発信
- テーマごとにまとめ、わかりやすく発信(公式WEBサイト・パンフレット等)

参加・体験

- 市民等はラベルにより自分の興味がある Action を検索して参加・体験

1-11 記念事業ロゴマーク（「基本計画」より）

記念事業のコンセプトでもある

川崎市ブランドメッセージのロゴマークと

一体的に使用できる記念事業プラットフォーム

「Colors, Future! Actions」の

ロゴマークを制作し、

記念事業のシンボルとして広くPRします。

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

1-12 記念事業期間（「基本計画」より）

令和 6 (2024) 年 4 月 1 日
～
令和 7 (2025) 年 3 月 31 日

記念事業は、市制100周年の市制記念日を含む年度である令和6(2024)年4月1日から、令和7(2025)年3月31日にかけて実施します。

それ以前についても、準備期間として、市制100周年に向けて川崎市全体の機運を高めるためのPR事業等の実施や記念事業に向けたさまざまな活動等を行ってきました。

1-13 時期ごとの目的・事業（「基本計画」より）

知って、関わって、好きになろう

記念事業期間の令和6(2024)年度だけではなく、それ以前の準備期間からも市制100周年に向けた各取組を通して、川崎市に関わる多くの方に「川崎を知って」→「記念事業に関わって、つながって」→「川崎を好きになって」いただくために、期間ごとに目的を示して事業等を展開します。

準備期間におけるPR事業やActionを特に区別して呼ぶ場合は、「プレ事業」とします。

	準備期間 / 令和5(2023)年度	記念事業期間 / 令和6(2024)年度
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」 →「川崎を好きになろう」
PR事業	記念事業に多くの市民が参加や参画してもらえるように、またオール川崎市で市制100周年を祝うことができるように「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての想い」を広く周知するPRを中心に実施	多彩なActionの取組を広報し、 記念事業に関わってもらうPRを実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction (単発事業・イベントではなく、翌年度にむけて熱量をあげていくAction)	記念事業のコンセプトを 踏まえた多彩なAction

2 事業推進計画

- 2-1 市制100周年記念事業に取り組む視点
- 2-2 記念事業の分類
- 2-3 プレ事業の実施状況
- 2-4 記念事業の全体像
- 2-5 実行委員会の主な取組
 - ・ 実行委員会主催のプロジェクトの実施
 - ・ 市民、企業、団体等の機運醸成
 - ・ 広報等の実施
- 2-6 市制100周年記念式典
- 2-7 全国都市緑化かわさきフェア
- 2-8 ① 実行委員会主催事業
- 2-9 ② 川崎市主催事業
- 2-10 ③ 実行委員会参画団体主催事業
- 2-11 ④ パートナー主催事業
- 2-12 「Colors, Future! Actions」の展開イメージ
- 2-13 目指すレガシー

2-1 市制100周年記念事業に取り組む視点

基本理念や基本方針、コンセプトを踏まえ、次の100年に向けた多様で多彩なActionを生み出していくにあたり、次の4つの視点により記念事業を進めていくこととします。

【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦

市民、企業、団体等との共創により、行政だけでは解決しにくい社会課題の解決を図るとともに、川崎からはじまる新しい未来や文化を創造するきっかけとなるさまざまな可能性に挑戦します。

【視点2】 川崎を好きになる事業の展開

多くの市民が、川崎市の歴史や魅力、多様性の価値を知りながら、関わっていくことで、川崎市への愛着が次々に生まれ、「好き」があふれる川崎を生み出していくきっかけとなる事業を展開します。

【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開

これからの100年を担う若年層を中心に、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるような取組を進めます。

【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施

令和7年度以降の取組の活性化も見据え、実行委員会や川崎市が先導し、基本理念に賛同する市民、企業、団体等自らが、主体的に市制100周年を祝い、盛り上げていけるよう取組を進めます。

2-2 記念事業の分類

記念事業は、大きく分けて、以下の4つの事業により実施しています。それぞれの主体が連携し、関連しながら事業を展開します。

	① 実行委員会主催事業	② 川崎市主催事業	③ 実行委員会参画団体主催事業	④ パートナー主催事業
事業主体	実行委員会 (幹事会・共同事務局)	川崎市	実行委員会 参画団体等	趣旨に賛同する 市民、団体、企業等 (実行委員会非所属)
実行予算	実行委員会予算	川崎市予算	原則、各企業等の負担	市民・各企業等の負担

COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th



③ 実行委員会参画団体による事業



2-3 プレ事業の実施状況 (① 実行委員会主催事業)

準備期間である令和5(2023)年度は、令和6(2024)年度の記念事業を先導するプレ事業を実施しました。

① 実行委員会主催事業としては、「Colors,Future!Summit 2023」及び「みんなの川崎祭」を初開催し、実行委員会参画団体をはじめとした多様な主体とともに、お越しいただいた市民の皆様を巻き込み、市制100周年に向けた機運を盛り上げました。

●「Colors,Future!Summit 2023」の実施

実行委員会に参画する7者の企業等で製作委員会を立ち上げ、市内3会場で川崎の未来を考える2日間のトークセッションと市内各地で開催された地元で人気のイベント17か所をデジタルスタンプラリーで繋ぎ、川崎の魅力を再発見いただく、回遊型フェスティバルを組み合わせた「Colors,Future!Summit 2023」を開催し、19のトークセッションで、合計約1,400人に来場いただきました。

開催期間 令和5(2023)年11月5日(日)～11月26日(日)

- ・フェスティバル 11月5日(日)～26日(日) 22日間
- ・カンファレンス 11月17日(金)・18日(土) 2日間



●「みんなの川崎祭」の実施

市役所通りの車道を活用し、ウォーカブルなまちを体験いただくイベント「みんなの川崎祭」を初めて開催し、音楽・スポーツ・アートなどの川崎の魅力を集結したステージや飲食・休憩スペースを設置、約40,000人に来場いただきました。

開催日時 令和5(2023)年11月5日(日)

会場

- ・市役所通り(旧東海道から国道15号までの本庁舎側の道路空間) 11:00～16:00
- ・稲毛公園(川崎区宮本町7-8) 11:00～21:00
- ・カワサキ文化会館(川崎区駅前本町 21-12 川崎第3京急ビル) 13:00～17:00



2-3 プレ事業の実施状況 (② 市主催事業)

② 市主催事業としては、各局区が所管する施策・事務事業に取り組む中で、記念事業を見据えたイベントや既存のリソースを活用した市制100周年の周知など、各局区において主体的にプレ事業を実施し、さまざまな施策分野において、市制100周年のコンセプトを踏まえた取組を実施するとともに、その機運醸成を図りました。

実施事例

●インクルーシブ音楽プロジェクト 「いろいろねいろ」の実施



市制100周年を契機として、音楽を通じて多様性を楽しみながら感じることができるプログラムとして、「インクルーシブ音楽プロジェクト」を実施しました。

「いろいろねいろ」をキーメッセージとして、体験ワークショップや公開ライブなど、多くの市民の皆様がインクルーシブ音楽に触れる活動を展開しました。



イベントの様子

●市制100周年の機運を高める「なかはらコアまつりイベント」の開催



8月26日に、武蔵小杉駅周辺のこすぎコアパーク、市道小杉町21号線、コスギサードアヴェニューサウスパークで「なかはらコアまつりイベント」を開催しました。

約14,000人の方に来場いただいたこのイベントでは、市制100周年の特別企画として、区民やプロ楽器奏者など約100人での合奏、市道小杉町21号線での盆踊りなどを実施しました。



盆踊りの様子

●キングスカイフロントOPEN DAYを開催



市立中学校が休みである10月10日の「かわさき家庭と地域の日」に、これからの社会を担う中学生を対象に、「殿町国際戦略拠点キングスカイフロント」を知り、魅力を感じてもらうことを目的として、施設見学イベントを開催しました。

エリアに立地する企業からの事業内容の説明や研究所での体験、水素バス「SORA」の乗車体験など、参加した中学生にライフサイエンス分野における世界最先端の研究開発を感じていただきました。



施設見学の様子

2-3 プレ事業の実施状況（③ 実行委員会参画団体主催事業、④ パートナー主催事業）

市制100周年をきっかけとしたさまざまな企業・団体や市民の皆様の主体的なアクションを生み出すため、実行委員会において市制100周年への関わり方などに関する説明会・共創を促進する交流会を実施するなど、実行委員会参画団体の主体的な取組を促進するとともに、市民、企業、団体等の「Colors, Future! Actions」への参加を促進しました。

●事業登録の実施

令和5(2023)年9月から、③ 実行委員会参画団体主催事業及び④ パートナー主催事業の登録を開始しました。

募集期間：令和5(2023)年9月1日～令和7(2025)年3月31日

登録方法：市制100周年記念事業公式WEBサイト 登録フォーム

登録事業は、公式WEBサイトに掲載し、取組をPRするとともに、より記念事業のコンセプトに合致した事業は、メールマガジンや各種広報媒体による周知、総会の場での発表など、積極的にPRしました。

●説明会・交流会の開催

令和5(2023)年9月、約350の実行委員会参画団体を対象に、川崎市内3か所において説明会を開催しました。事業概要や関わり方、提案型募集事業の説明会を実施するとともに、共創を促す参画団体同士の交流会を合同開催し、174人が参加しました。「市で活動する方々を中心に、さまざまな業種の方と知り合うことができ、良い機会になった」などの声をいただくなど、共創に向けた交流を促進しました。



説明会の様子



交流会の様子

●登録事業数（令和6(2024)年3月19日現在）

③ 実行委員会参画団体主催事業：59事業

④ パートナー主催事業：26事業

●③ 実行委員会参画団体主催事業の例



←川崎日航ホテルによる、川崎産の食材を使い、川崎市のカラーをイメージして作ったスイーツおせち



川崎信用金庫による、市制100周年を記念した、川崎のまちを写真で振り返るカレンダーの作成→

●④ パートナー主催事業の例



グリーンバード川崎駅チームとスターバックス コーヒー 川崎地区のパートナー同士による、市制100周年に向けて100人で行う清掃活動



アルテリッカ新ゆり美術 展実行委員会による、市制100周年プレ美術展

2-4 記念事業の全体像

準備期間である令和5(2023)においては、市制100周年のコンセプトを共有するさまざまな広報を展開するとともに、プレ事業として多様な主体とさまざまな事業を展開しながら、市制100周年の機運醸成を図ってきました。

記念事業期間である令和6(2024)年については、こうした令和5(2023)年度の実績により醸成された機運やプレ事業での取組結果を活かしながら、記念事業のコンセプトを踏まえた多彩な事業を展開していきます。

記念事業を進めるにあたり、市制100周年記念事業に取り組む視点を踏まえ、大きく3つの時期に分け、テーマと「取組の核」を設けます。

「取組の核」として、それぞれ「市制100周年記念式典」、フェス&カンファレンス「Colors,Future!Summit」、「全国都市緑化かわさきフェア」の秋開催及び春開催を位置付け、取組の核を中心にそれぞれの取組を有機的に連携させながら、年間を通じて、市域全域でさまざまな事業を展開していきます。



2-4 記念事業の全体像

取組の核を中心に、実行委員会が主催するプロジェクトや、市の各施策の中で取り組む+αのチャレンジ、実行委員会参画団体をはじめとした自主的なActionを実施するとともに、それぞれが有機的に連携しながら年間を通じて市制100周年を盛り上げていきます。

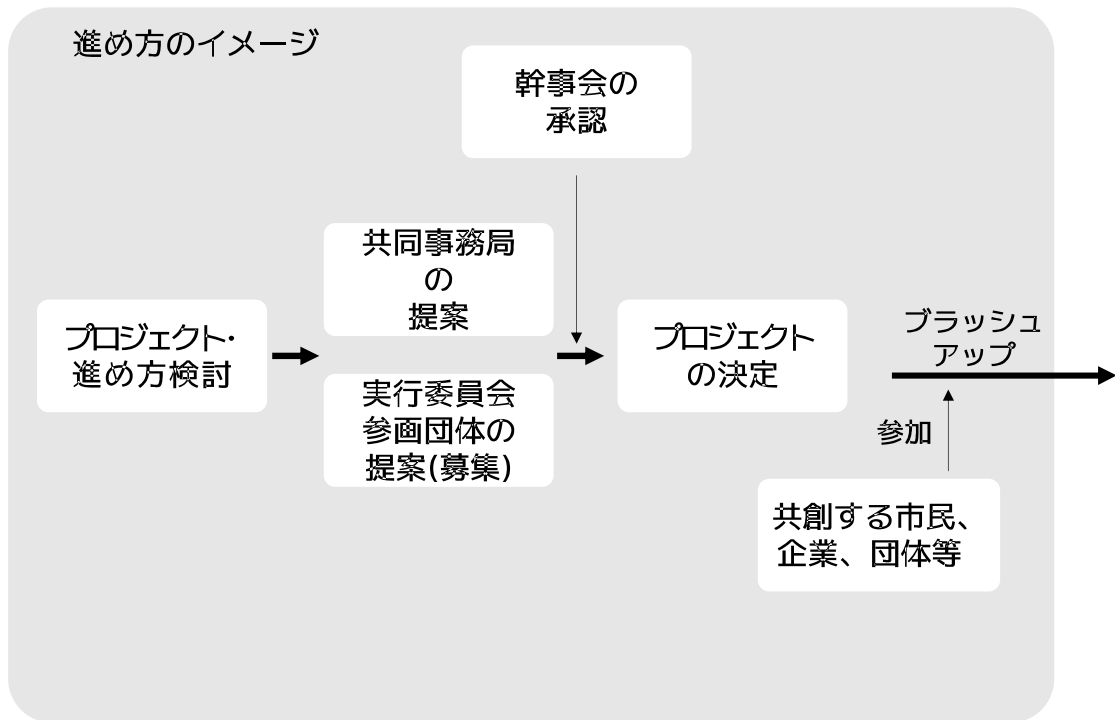


2-5 実行委員会の主な取組（実行委員会主催のプロジェクトの実施）

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施します。

共同事務局を中心に、実行委員会参画団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討・実施していきます。

市民、企業、団体等と共創しながら官民連携で事業を推進し、あたらしい川崎の可能性に挑戦する取組を展開していきます。



	取組中のプロジェクト名
1	フェス&カンファレンス 「Colors,Future!Summit」
2	公共空間を活用した賑わい創出プロジェクト 「みんなの川崎祭」
3	等々力緑地全体を活用した 共創・賑わい創出プロジェクト 「かわさき飛躍祭」
4	脱炭素プロジェクト
5	音楽プロジェクト
6	みどりの共創プロジェクト
7	提案型事業

2年間の想定事業費	
令和5(2023)年度	令和6(2024)年度
約3,500万円	約1億6,500万円

2-5 実行委員会の主な取組（市民、企業、団体等の機運醸成）

説明会や交流会などを開催し、実行委員会参画団体の主体的な取組を促進するとともに、市民、企業、団体等の「Colors, Future! Actions」への参加を促します。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・「Colors, Future! Actions」を促す説明会や交流会などを開催します。
- ・市制100周年記念事業公式WEBサイトやニュースレターなどによる、さまざまな効果的な情報発信を行います。
- ・市民、企業、団体等が参加・発表し、誰もが楽しめる場として、「フェス&カンファレンス」を企画・実施しました。
※令和5(2023)年度は、フェス&カンファレンスとして「Colors,Future!Summit」を① 実行委員会主催事業と機運醸成の取組を兼ねて実施しましたが、令和6(2024)年度は、「Colors,Future!Summit」を① 実行委員会主催事業として実施します。



説明会や交流会の開催



公式WEBサイト情報発信

2年間の想定事業費	
令和5(2023)年度	令和6(2024)年度
約2,500万円	約500万円

2-5 実行委員会の主な取組（広報等の実施）

実行委員会が主体となって、協賛企業ロゴ入りポスター、情報発信の旗艦である「市制100周年記念事業公式WEBサイト」の運営、ニュースレターなどの定期的な発信、さまざまな媒体を通じた記念事業の広報により、市民、企業、団体等の認知・理解を図り、「Colors, Future! Actions」への参加を促します。



協賛企業ロゴ入りポスター



公式WEBサイトの運営



ニュースレターの発行

2年間の想定事業費	
令和5(2023)年度	令和6(2024)年度
約4,500万円	約7,500万円

2-6 市制100周年記念式典

市制100周年という歴史的な節目に、市民の皆様とともに祝い、次の100年に向けた新たなスタートラインとするため、市制100周年記念式典を開催します。

式典の随所に、市制100周年記念事業のコンセプトであり市ブランドメッセージである「Colors,Future! いろいろって、未来。」が感じられる演出を行い、市の魅力や歴史を再確認するとともにシビックプライドを醸成する機会とします。

●取組概要

実施時期 令和6(2024)年7月1日(月・市制記念日)

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール

主催者 川崎市/川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

出席者 1,500名程度(来賓・招待者、被表彰者、市民招待者等)

主な内容 ○オープニング(パイプオルガン演奏)

○市制100周年記念映像の上映

○市制100周年記念表彰式

川崎市の発展に関し特に顕著な功績がある方及び功績があり今後の更なる活躍が期待される方を称える表彰を実施

○市制100周年記念演奏

混声合唱×混成オーケストラによる「多様性が可能性」であることを体現する演奏の実施

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市



2-7 全国都市緑化かわさきフェア

市制100周年の象徴的事業として、みどりが持つ多様なポテンシャルを、共有の価値として認識するとともに、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、みどりの多様な効果を実感でき、人々が暮らしやすく住み続けたいまちとするため、市民や企業、行政などの多様な主体が将来像を共有するためのさまざまな取組を通じて、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信していきます。

●取組概要

名称・愛称 第41回 全国都市緑化かわさきフェア 「Green For All KAWASAKI 2024」

主催者等 提 唱 国土交通省

主催者 川崎市、公益財団法人都市緑化機構

実施主体 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

開催期間 令和6(2024)年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)

令和7(2025)年3月22日(土)～4月13日(日) (23日間)

会場 コア会場 富士見公園、等々力緑地、生田緑地

コア会場周辺エリア及びまちなかみどりスポット (公園緑地、駅前広場、道路、河川、庁舎、商業施設、商店街など)



Green For All
KAWASAKI
2024

第41回 全国都市緑化かわさきフェア
シンボルマーク

●取組イメージ



※全国都市緑化かわさきフェアは、「全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画」を令和5(2023)8月末に策定し、取組を進めています。

2-8 ① 実行委員会主催事業（フェス&カンファレンス）

実行委員会主催事業を先導し、市制100周年記念事業「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、これまでの100年で培われた川崎の魅力を再発見できる、誰もが楽しめる『フェスティバル』と川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなる『カンファレンス』を組み合わせ、市制100周年からはじまる官民共創の「フェス&カンファレンス」を「Colors,Future! Summit」として開催し、川崎のポテンシャルや魅力を広く発信していくことで、市民のシビックプライドの向上を図るとともに、将来的に自走していくことを目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、令和5(2023)年度に実験的に開催した「Colors,Future!Summit 2023」の実施結果を踏まえ、「みんなの川崎祭」や「全国都市緑化かわさきフェア」等の屋外での賑わいを創出するイベントと開催時期と場所を合わせて、多くの方が一体的にかつ気軽に参加できるような工夫をしながら、市民のActionや連携するイベントを深掘りするカンファレンスプログラムやスポンサー等による話題のコンテンツを展開して、訪れる方が多様な楽しみ方ができるようなイベントを創出します。

令和7(2025)年度以降についても、収益を得ながら自走できる仕組みを構築し、市制100周年を契機に生み出された本イベントそのものが継続できるよう取組を進めます。



●取組イメージ



川崎のポテンシャルや魅力を発信して未来づくりへの参加のきっかけを創出



川崎にゆかりのある方や有識者を招いて「あたらしい川崎」の可能性を共有



屋外での賑わいイベントと連携して、川崎の魅力を再発見できる誰もが楽しめるフェスティバルを実施

2-8 ① 実行委員会主催事業（公共空間を活用した賑わい創出プロジェクト）

市制100周年記念事業及び都市緑化かわさきフェアを契機として、道路や公園などの公共空間を活用し、川崎で活躍している方々を中心にさまざまな主体が連携しながら、居心地の良いウォーカブルな空間を生み出し、面による賑わい創出のイベントやみどりを身近に感じてもらえる仕掛け等を実施することで、川崎の魅力の向上を図るとともに、取組を広く発信し、市民のシビックプライドの向上やみどりのまちづくりの機運醸成を図るとともに、将来的な公共空間の効果的かつ持続的な活用を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、令和5(2023)年度に社会実験として実施した「みんなの川崎祭」の実施結果を踏まえ、全国都市緑化かわさきフェアの開催と時期を合わせ、全国都市緑化かわさきフェア会場である富士見公園までの動線である市役所通り及びその周辺の公共空間などを活用して、さまざまな主体と連携しながら「みんなの川崎祭」を開催し、賑わいの創出を図るとともにみどりを感じながら歩いて楽しめる空間を創出します。令和7(2025)年度以降、市役所通りにおける「みんなの川崎祭」などの賑わい創出イベントの継続を図るとともに、市内における公共空間を活用した取組の発展を図ります。



●取組イメージ



飲食・休憩スペースを道路上に設置し、ウォーカブルな空間を創出



川崎を自慢したくなる魅力ある川崎のコンテンツを集結



実行委員会参画団体等と連携したさまざまな共創の取組の実施



2-8 ① 実行委員会主催事業（等々力緑地全体を活用した共創・賑わい創出プロジェクト）

市制100周年の市制記念日に合わせて、川崎が誇る多様なプレーヤーの連携により、等々力緑地をフル活用した、川崎の魅力や価値に触れる祝賀イベントを実施することで、未来を担う若者を中心に、“川崎はすごい”“最高に楽しかった”という体験と記憶を残してシビックプライドの向上を図るとともに、将来に向けた賑わいあふれる等々力緑地創出を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、市制100周年記念日直前の土曜日である6月29日に、川崎が誇る魅力をイベント化し、①等々力球場でのかわさきスペシャルサポーターSHISHAMOとsumika、その他かわさきゆかりのアーティスト等を招聘した音楽フェス「かわさき100フェス」、②等々力緑地一帯での各種スポーツ・パラスポーツ体験コーナー、キッチンカーなど川崎が誇る魅力的なコンテンツを活かした「アッと（@/at）等々力フェス」、③川崎フロンターレ市制100周年記念試合、その他の目的に沿ったイベントを組み合わせ、「かわさき飛躍祭」として開催します。令和7(2025)年度以降、等々力球場で実施した音楽フェスをはじめとした等々力緑地活用のチャレンジが、将来に向けた賑わいあふれる等々力緑地創出につながっていくことを目指します。



かわさき飛躍祭のロゴ

●取組イメージ



等々力球場での音楽フェスは初開催



等々力緑地全体で楽しめるイベントを実施



夜は川崎フロンターレの市制記念試合を開催

2-8 ① 実行委員会主催事業（脱炭素プロジェクト）

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアを契機に、川崎市の脱炭素戦略（かわさきカーボンゼロチャレンジ2025）のもと、川崎で活動・活躍している企業・団体を中心に一層の連携を進めながら、市民や事業者が環境に良いアクションを行うことをより身近に感じられる事業を実施することで、市民のシビックプライドの向上や、サステナブルなまちづくりに向けた機運醸成を図るとともに、一人ひとりが自発的に環境に良いアクションをとる文化や新しいライフスタイルの形成を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、脱炭素プロジェクトの先行的取組として「宅配再配達削減」エコアクションの推進・普及に取り組み、宅配分野における市民の自発的な行動変容につながる仕組みについて検証を行うとともに、本検証より得られた結果から、脱炭素で注目を集めている他分野への展開、また、さまざまな事業主体とのさらなる共創モデルの構築について検討を進めます。

令和7(2025)年度以降、エコアクションを推進する取組分野を段階的に拡大しながら、市民の自発的なエコアクションの連鎖を促す仕組みの創出を目指します。

●取組イメージ

脱炭素プロジェクトの概念



多様な事業者の連携による共創モデル構築と市民の自発的なエコアクションの連鎖が相乗する仕組みの構築

「宅配再配達削減」エコアクションへの先行的取組



宅配ボックスの活用により共働き世代や若年層の受取の選択肢を拡大「特別体験」など利用者特典の提供をきっかけにエコアクションを継続

2-8 ① 実行委員会主催事業（音楽プロジェクト）

市制100周年記念事業を契機として、令和6(2024)年に20周年を迎える「音楽のまち・かわさき」の活動を加速させるプロジェクトとして、溝口駅前キラリデッキに誰もが楽しめるオープンな空間を設け、音楽を通じた「地域や世代を超えたコミュニティ」を生み出すことによる地域社会の活性化とオープンスペースで活動ができる場の提供による音楽・文化芸術が街と調和するモデルケースの創出にチャレンジし、市民の多彩な文化・芸術活動の場を通じてできた「人のつながり」から川崎らしさを取り入れた活力とうるおいのある地域社会づくりを目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、「みんなの川崎祭」や「Colors,Future!Summit」、「脱炭素プロジェクト」など他の実行委員会主催事業に参加して、お互いのイベントを盛り上げながら、11月に洗足学園音楽大学や地元企業・町内会等と連携して、溝口駅前キラリデッキに音楽やダンスなど「見て・感じて・楽しめる」憩いのスペースを創出する新たな賑わいイベントを実施します。

令和7(2025)年度以降、みぞのくちでの活動が継続され、このモデルが市内全域に広がり、それぞれの地域の特徴が取り入れられたコミュニティが生まれ、川崎が市民にとっての『住み続けたい街』になっていくことを目指していきます。

●取組イメージ



溝口駅前キラリデッキに憩いの
オープンスペース空間を創出



オープンスペースの活用イメージ
(普段は木の温もりを感じる憩いの空間 → イベント時はステージに変化)



2-8 ① 実行委員会主催事業（みどりの共創プロジェクト）

川崎市では、環境先進都市として持続的な発展を目指し、積極的にSDGsの達成や脱炭素社会の実現に寄与する取組を進めており、また、近年では社会状況や市民のライフスタイルの変化に伴い、暮らしの中にみどりを取り入れる動きが広がるなど、みどりの価値が大きく見直されています。

これまでの川崎の100年を振り返り、これからの川崎をどのようなまちにしていくのか。そして、みどりが持つ力を使って、川崎らしく、次の100年により豊かな環境をどうつないでいくのか。全国都市緑化かわさきフェアの開催を機に、市民、企業、大学、行政等の多様な主体の共創により、『みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち』の実現を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、令和5(2023)年度のICT×みどり、健康・スポーツ×みどり、コミュニティ×みどりなどのプロジェクト内で深度化を図った事業案や既存イベントと連携したプレ事業の結果を踏まえた内容を、来場者が多く、注目の集まるフェア会場等で実践することで、多くのデータ収集を行い、事業化に向けたさらなる検証を行います。

令和7(2025)年度以降は、令和6(2024)年度までの経過を踏まえ、事業の精度を高め自走化に向けた事業展開を行います。

●取組イメージ



2-8 ① 実行委員会主催事業（提案型事業）

市制100周年を契機に、これまでの川崎の歴史を振り返りながら、川崎だからできる多様で多彩なアクションを模索し、「あたらしい川崎」を生み出していくために、実行委員会参画団体に加えて、市民、企業、団体等の方々から広く提案を募集して、そこで生まれる柔軟なアイデアや発想から、記念事業を盛り上げ、地域課題の解決、地域の魅力や価値の向上に向けた取組が創出されることを目指します。

●取組概要

< 募集する提案の条件 >

- ① 川崎市市制100周年記念事業実施計画
「Colors,Future!Actions プラン」の基本理念、基本方針、
取り組む視点と整合性のある提案事業であること。
- ② 令和6(2024)年度に共創事業を実施し、成果を報告できること。
- ③ 令和7(2025)年度以降も事業の継続実施が見込めること。

< 負担金の考え方 >

- 負担額 1事業あたり上限500万円（※下限は250万円）
- 採用事業数 4件程度を予定（※予算の範囲内で採用数を調整）
- 負担割合 直接的経費の1/2以内で実行委員会が負担

< 募集するテーマ >

- 提案する企画内容は基本的に自由

●採択された事業

「子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト-世界子ども地域合衆国サミット-」

- 主催者 学校法人調布学園、一般社団法人デジタル田園都市国家構想応援団、NPO法人ミニシティ・プラス、CHEERS株式会社、一般社団法人SDGs Innovation HUB、一般社団法人CePiCみんなの地球公園国際コミュニティ
- 企画概要 子どもが考える新しいまちづくりやアイデアの実現に向けて、川崎市に根付いた産業を子どもたちが体験することができる企画と市内の小中学生が参加する「世界子ども地域合衆国サミット」と「共創子ども会議」を開催する。

「まんなかフェス2024」

- 主催者 株式会社カリヨン・カンパニー、一般社団法人Miraiallかわさき、一般社団法人武蔵小杉エリアマネジメント
- 企画概要 これまでのまんなかフェスで実施してきた、市内の作家によるハンドメイドマルシェ、ワークショップや体験、地域の飲食出店、ステージ発表、親子コンサートに加えて、100周年を機に新規に市民参加型の花と緑をコンセプトとした『音とアート』のパレードを実施する。

令和6(2024)年度は、採用された事業について、定期的に実行委員会事務局への進捗報告を求めながら、提案事業者からの相談や必要な助言を行うなど伴走支援をしながら取組を進めます。

2-9 ② 川崎市主催事業

川崎市が主体となり、さまざまな施策に取り組む中で記念事業を実施します。

- ・ 川崎市の各局区が所管する施策・事務事業に取り組む中で、市制100周年を契機として、一歩先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・ 実行委員会では、事業によっては川崎市の各局区の事業と効果的な連携を図ります。

【令和6(2024)年度取組】(111事業 ※令和6(2024)年度予算案で新規・拡充とした事業) [別紙] 事業一覧参照

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組(20事業) →P 39

さまざまなイベントにおいて、市制100周年を記念した特別な事業を展開します。

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組(41事業) →P 40

各区における地域の特徴や資源等を活かした特徴的な事業を展開します。

○これからの100 年を担う若年層への取組(23事業) →P 41

子どもたちの成長・発達段階に応じて、市制100周年記念事業を実施します。

○市制100周年のPR及びさまざまな取組(27事業) →P 42

さまざまな機会を捉えながら、川崎の歴史を踏まえた市制100周年のPR等を実施します。

2-9 ② 川崎市主催事業（市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組）

取組の核を中心に、実行委員会主催事業と連携しながら、市制100周年を盛り上げるさまざまなイベントを年間を通じて実施します。

PICK UP

市役所通りのライトアップ



市制100周年を契機として、全国都市緑化かわさきフェアや公共空間の活用等と連携しながら、市役所通りを再生可能エネルギーによりライトアップすることで、空間を高質化し、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成につなげます。



※イメージ



※予定箇所

PICK UP

100周年記念・拡大版「優しい木のひろば」



市制100周年の今回、全国都市緑化かわさきフェアと連携しながら、木材利用促進イベント「優しい木のひろば」の取組を拡大して各区において実施し、より木の良さや木材利用の意義を広く知っていただくための取組を進めます。



※イメージ



※イメージ

PICK UP

市制100周年記念「多摩川花火大会」



市制100周年を記念し、花火の玉数を約10,000発に増やし、動画配信や市民参加型のプログラムなどの新たな取組を実施するなど、例年より内容を充実させた特別な大会として実施し、ふるさと川崎の更なる意識の高揚につなげます。



※イメージ



※イメージ

PICK UP

市制100周年・音楽のまち20周年記念事業



市制100周年とともに20周年を迎える「音楽のまち・かわさき」を祝い、盛り上げ、次の100年につなげていくため、「かわさきジャズ」を始め、多世代が楽しめる大合奏プロジェクトや市民参加型で音楽を作るワークショップなど、関連団体や市民とともに記念事業を展開します。



※イメージ



音楽のまち・かわさき

2-9 ② 川崎市主催事業（市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組）

市内の地域の特徴や資源を活かしながら、地域で活躍する方々と連携し、市域全体で記念事業を展開していきます。

多摩区

登戸駅前の公共空間の活用や、多摩スポーツセンター、Anker フロントタウン生田でのスポーツフェスタ、生田地区における市制100周年記念植樹などの取組を実施します。



生田緑地

等々力緑地

中原区

小杉駅前の公共空間、平和館、国際交流センター等を活用したイベントや、市民参加型のアート作品の制作、記念花壇の装飾などの取組を実施します。



幸区

「さいわいにぎわいフェス」などの川崎駅西口周辺でのイベントや花手水の設置、かこさとしスポットの設置などの取組を実施します。



麻生区

麻生区の文化・芸術・農業などの資源を活かしたイベントの実施や、市制100周年を記念した行政・市民・企業と協働での美化・植栽活動などの取組を実施します。



高津区

溝口駅前におけるキラリデッキのリニューアルや脱炭素アクションみぞのくちのイベント、橘樹官衙歴史公園オープン記念式典などの取組を実施します。



川崎区

市制100周年を記念したかわさき市民祭りの開催や東海道魅力発見ツアー、市制100周年記念企画展や100人の笑顔の写真展などの取組を実施します。



富士見公園

宮前区

鷺沼駅前の公共空間等を活用したイベントや、北部市場でのメニュー開発、東名川崎IC周辺におけるみどりの景観づくりなどの取組を実施します。



臨海部

川崎みなと祭りのドローンショーや臨海部企業等の施設見学、港の仕事体験などの取組を実施します。



2-9 ② 川崎市主催事業（これからの100 年を担う若年層への取組）

子どもたちの成長・発達段階に応じて、住んでいるまちに関わり、川崎を好きになる事業を実施していきます。

また、若い人たちが集い、自らの可能性を広げるため、若者文化を盛り上げていきます。



2-9 ② 川崎市主催事業（市制100周年のPR及びさまざまな取組）

さまざまな機会を用いて、市制100周年のPRや川崎の歴史等を知ってもらう取組を展開します。

また、全国都市緑化かわさきフェアと連携したみどりの取組や多様性をテーマとした取組等を実施します。

PICK UP

100人100通りのほっこりポスター

市制100周年を契機として、市内全体のムードをより「つながり志向」「支えあい志向」に変えていくため、つながりや支えあいの大切さを感じられる100人100通りのポスターを作成し、さまざまな場所への掲出及びSNS等での広報を展開します。



※イメージ

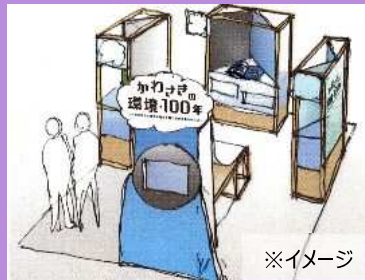


※イメージ

PICK UP

川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展

令和5(2023)年度を取組を踏まえながら、これまでの環境関連の記録写真等を取りまとめてデジタルアーカイブ化するとともに、川崎の発展と環境の歴史を振り返り、未来を考える企画展やワークショップを開催します。



※イメージ



※イメージ

PICK UP

みどりと魅力があふれる散歩道の更なる活用

全国都市緑化かわさきフェアの開催を契機に、さらにみどりへの関心を深めていただくため、ガイドマップ「川崎散歩ゆるり旅」で紹介している散歩道を、「かわさきTEKTEK」のウォーキングコースとして追加するとともに、協働花壇のリニューアルを実施します。



※イメージ



※イメージ

PICK UP

市制100周年記念展

市制100周年を契機に文化芸術をより一層身近に感じていただくため、川崎ゆかりのアーティストによる企画展や、まちなかにおける展示、川崎の歴史を掘り下げる企画展などを実施します。



※イメージ



※イメージ

2-10 ③ 実行委員会参画団体主催事業について

実行委員会参画団体が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げるとともに、「Colors, Future! Actions」の取組が市全体に広がっていくよう機運醸成を図ります。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・参画団体に対して、引き続き、記念事業の趣旨の丁寧な説明を実施します。
- ・登録いただいた事業について、公式WEBサイトでの発信や特集記事化、メールマガジンやニュースレター、ラジオ番組の活用など、多様な広報媒体にて積極的にPRを行います。
- ・事業創出を支援するため、令和4(2022)年度に募集した「アイデアの種(※)」の活用や、参画団体同士等で交流し、共創につながる交流会を開催するとともに、団体ごとに実行委員会の事務局担当者を設定するなど、引き続き、事業を創出しやすい環境づくりを行います。

※アイデアの種：公式WEBサイトに掲載



2024年 1月

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

今後開催予定のイベント



公式WEBサイトでの周知



公式WEBサイトでの特集記事化



実行委員会参画団体の交流会の開催

2-11 ④ パートナー主催事業について

市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が、記念事業に参加できるしくみとして「パートナー制度」を設け、記念事業の趣旨に賛同する多くの方に自ら事業を実施していただき、オール川崎市で市制100周年を盛り上げます。

● 制度の概要

1. パートナーとは ————— 記念事業の趣旨に賛同し、Actionを実行する市民と実行委員会に参画していない企業、団体等のこと。
2. Action の実施イメージ — 普段の取組に記念事業の要素(+α)を加え、ロゴマークやActionテーマラベルを付して実施していただきます。
3. パートナー事業の紹介 — 登録いただいた事業については、実行委員会の公式WEBサイトにて発信するとともに、より記念事業のコンセプトに合う事業については、ニュースレター、公式WEBサイトの特集記事とするなど、多様な広報媒体にて積極的にPRします。また、記念事業期間終了後に作成予定の記録誌に掲載します。

● パートナーによるActionの創出に向けて

- ・ パートナー主催事業の制度概要や登録方法について、分かりやすいチラシを作成し、市民団体等の集まりの場での説明や広報等を積極的に行い、パートナー主催事業の更なる周知を図ることで、市内全域で事業が展開されるよう取組を進めます。
- ・ 実行委員会参画団体が実施したさまざまな事業を多くの方々に周知することで、パートナー主催事業の創出につなげていきます。



分かりやすいチラシの作成



市民団体の集まりの場での説明

2-12 「Colors, Future! Actions」の展開イメージ

市制100周年をきっかけとして、令和5(2023)年度から段階的に事業を展開し、徐々に市民、企業、団体等の認知・理解を図ります。令和6(2024)年度の事業期間にさまざまなアクションを創出し、市制100周年後も、「Colors, Future! Actions」の取組が続くよう、進めていきます。

	令和5（2023）年度	令和6（2024）年度	令和7（2025）年度～
	コンセプトを共有し 共創の機運醸成	令和5年度の取組により 醸成された機運を活かし 更なるアクションを創出	市制100周年後も 市民、企業、団体等が主体と なって継続的に自走する
川崎市	市主催プレ事業	市主催事業	<div>取組の継続・発展</div> <div>※実行委員会は解散し、新たな ステップに向かうことを検討</div>
実行委員会	<div>・ Colors, Future! Summit</div> <div>・ みんなの川崎祭</div> <div>実行委員会参画団体主催プレ事業</div>	<div>・ 実行委員会主催事業</div> <div>実行委員会参画団体主催事業</div>	
パートナー	認知・理解	パートナー主催事業	

2-13 目指すレガシー

記念事業に取り組む中で、多様な主体が力をかけ合わせて生まれたActionや、シビックプライドの高まりを活かしながら、次の100年に向けて、自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民、企業、団体の方々とともに川崎を持続的に発展させ、あたらしい川崎を生み出していきます。

市制100周年を機に生まれたつながりやActionを持続的に発展

市制100周年を契機として生まれたつながりや多様な主体が力を掛け合わせて生まれたActionを、次の100年に向けて活かし育てながら、川崎を持続的に発展させていくことを目指します。



共創による新たなかけ合わせが生まれやすい機運を醸成



100周年を機に生まれた事業「Colors,Future!Summit」「みんなの川崎祭」などの事業の継続・発展

一緒に盛り上げた記念事業を経て、川崎のファンが増加

川崎を知って、関わって、好きになる記念事業の実施により、市民一人ひとりのシビックプライドの醸成を図るとともに、自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民、企業、団体の方々の増加を目指します。



川崎を知って関わって好きになる子どもたちが増加



自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民等が増加

川崎のポテンシャルや魅力を高める取組を加速

市制100周年を機にチャレンジすることで、さまざまな分野の取組を加速させることを目指します。



車道の活用や通りのライトアップなどにより公共空間の活用が加速



脱炭素や音楽、若者文化など、川崎の得意分野を伸ばし、より魅力的なまちに



障がいの有無など関係なくより誰もが暮らしやすいまちに

全国都市緑化かわさきフェアのレガシー

フェアをきっかけに、市民、団体、企業等の多様な主体との協働・共創により、日常的に憩い、集い、賑わう質の高いみどりとオープンスペースを創出するとともに、日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通して、人と人、人とまちのつながりを生み出すことを目指します。



日常的に憩い、集い、賑わうみどりとオープンスペースを創出



日常の中にみどりが溶け込み、みどりを通してつながりを生み出す



地域のやりたいを叶えることができる地域の個性があふれる公園に